

# Kofax TotalAgility

キャプチャ スタート パック スタート ガイド

バージョン: 7.8.0

日付: 2020-07-06

**KOFAX**

© 2020 Kofax. All rights reserved.

Kofax is a trademark of Kofax, Inc., registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Kofax.

# 目次

序文.....	5
Kofax TotalAgility の概要.....	5
オンプレミス マルチテナント.....	5
関連ドキュメント.....	5
トレーニング.....	6
Kofax 製品のヘルプの入手.....	7
<b>第 1 章: キャプチャ スタート パックの概要.....</b>	<b>8</b>
<b>第 2 章: キャプチャ スタート パックのインポート.....</b>	<b>9</b>
キャプチャ スタート パックのインストール フォルダ.....	9
キャプチャ スタート パックのインポート.....	9
<b>第 3 章: キャプチャ スタート パックのコンポーネント.....</b>	<b>10</b>
カテゴリ.....	10
フォルダ タイプ.....	10
抽出グループ.....	10
分類グループ.....	12
プロセス.....	12
スキャン/VRS プロファイル.....	13
フォーム.....	13
サイト.....	15
ログオン フォーム.....	15
ナビゲーション.....	15
アクセス フォーム.....	16
キャプチャ スタート パックのアクティビティの表示.....	16
エクスポート.....	17
プロセス ドキュメント.....	18
コンポーネントのカスタマイズ.....	20
フォルダ タイプの変更.....	20
分類グループの変更.....	20
抽出グループの変更.....	21
<b>第 4 章: キャプチャ スタート パックの構成.....</b>	<b>22</b>
取り込みソースの構成.....	22
MFP 設定の構成.....	22
モバイル設定の構成.....	23
Kofax インポート コネクタの接続設定の構成.....	23

Kofax エクスポート コネクタの設定の構成.....	24
例外処理.....	25

# 序文

このガイドでは、Kofax TotalAgility を使用してキャプチャ スタート パックをインポートして処理する方法について説明します。

## Kofax TotalAgility の概要

Kofax TotalAgility は、重要なビジネス インタラクションを変換および簡素化するスマート プロセス アプリケーション (SPA) プラットフォームです。TotalAgility を使用して、継続的に改善するビジネス プロセスを設計、開発、展開すると、顧客エンゲージメント、プロセスの実行効率、ビジネスの俊敏性が向上します。

TotalAgility は、マルチチャネル情報キャプチャ、ビジネス プロセス管理、適応型ケース管理、モバイル機能を備えた単一の結合型製品オファリングです。

TotalAgility は、ビジネス インテリジェンス (BI) と分析機能、高度なデータ統合機能、および電子署名機能をサポートします (それぞれ Kofax Insight、RPA、Kofax SignDoc、および Kofax Communications Manager 製品に事前に統合済み)。

## オンプレミス マルチテナント

オンプレミス マルチテナント バージョンの TotalAgility では、共有サービス センター (SSC) およびビジネス プロセス アウトソーサー (BPO) からソフトウェア/ソリューションを顧客ベース (テナント) に提供できます。このバージョンには、以下が含まれています。

- テナント管理システム (テナントの作成および管理用)
- ライブ (本番) 環境
- 開発環境

オプションのオンプレミス マルチテナント バージョンの TotalAgility を活用すると、すべてのテナントにサービスを提供するソフトウェアの単一インスタンスをデプロイして、各テナントの独自のデータ セットを他のすべてのテナントのデータから隔離したままにできます。

## 関連ドキュメント

Kofax TotalAgility 7.8.0 の製品ドキュメント セットは次の場所で入手可能です。

<https://docshield.kofax.com/Portal/Products/KTA/7.8.0-dpm5ap0jk8/KTA.htm>

このガイドのほか、ドキュメント セットには次の項目が含まれています。

- Kofax TotalAgility 前提条件ガイド: TotalAgility をインストールするためのシステム要件、前提条件ユーティリティの実行手順、およびさまざまなインストール タイプのソフトウェア チェックリストを説明します。

- Kofax TotalAgility インストール ガイド: TotalAgility をインストールし構成する方法について説明します。
- Kofax TotalAgility 統合サーバー インストール ガイド: Kofax 統合サーバーをインストールし、他の製品と結合する方法について説明します。
- Kofax TotalAgility オンプレミス マルチテナント インストール ガイド: オンプレミス マルチテナント システムのインストールおよび構成方法について説明します。
- Kofax TotalAgility 構成ユーティリティ ガイド: 構成ユーティリティを使用して、さまざまなタイプのインストールおよび展開の各種構成ファイルの設定を更新する方法について説明します。
- Kofax TotalAgility 管理者ガイド: TotalAgility インストールの構成および保守に関する情報を管理者に提供します。
- Kofax TotalAgility アーキテクチャ ガイド: オンプレミス、オンプレミス マルチテナント、Azure 環境のさまざまな展開を含む、TotalAgility アーキテクチャの概要について説明します。
- Kofax TotalAgility ベスト プラクティス ガイド: TotalAgility を使用してパフォーマンス、コスト、メンテナンス、可用性、およびセキュリティを改善する場合に従う必要があるベスト プラクティスについて説明します。
- Kofax TotalAgility 機能ガイド: TotalAgility の機能概要を説明します。
- Kofax TotalAgility 移行ガイド: 異なるバージョンからの TotalAgility アップグレードおよびアップグレード後の構成に関する情報を説明します。
- Kofax TotalAgility のヘルプ: TotalAgility を使用してビジネス ジョブとケースを設計し、リソースを割り当て、フォームを作成し、外部アプリケーションと結合するなどの詳細を説明します。TotalAgility アプリケーションから [ヘルプ] ボタンをクリックすることで、ヘルプにアクセスできます。
- Kofax TotalAgility Workspace のヘルプ: Workspace を使用してアクティビティ、ジョブ、およびリソースを管理する方法について説明します。TotalAgility Workspace からヘルプにアクセスするには、[ヘルプ] ボタンをクリックします。
- Kofax TotalAgility オンプレミス マルチテナント システムのヘルプ: TotalAgility オンプレミス マルチテナント システムを使用してテナントを作成および管理する方法について説明します。
- Kofax TotalAgility Web Capture コントロールのヘルプ: Web Capture コントロールを使用した、複数ページのドキュメントの作成、新しいフォルダでの新しいドキュメントの作成、誤ってスキャンされたページの削除などに関する詳細を提供します。また、Web Capture コントロール ツールバーで使用可能なボタンについても説明します。
- Kofax Analytics for TotalAgility 製品機能ガイド: ワークフローを通過するデータの追跡、プロセスとリソースの有効性の分析、ビジネス上の問題への対処に役立つダッシュボードの概要について説明します。
- Kofax TotalAgility テーブル: Kofax Analytics for TotalAgility で使用される Kofax TotalAgility テーブルおよびフィールドについて説明します。
- Kofax 製品からの移行ガイド: TotalAgility ファイルと Kofax 変換モジュール プロジェクトの TotalAgility への移行に関する情報を説明します。

## トレーニング

Kofax では、お客様に Kofax TotalAgility ソリューションを最大限活用していただくことを目指して、教室でのトレーニングとコンピュータ ベースのトレーニングの両方を提供しています。利用可能なトレーニングの種類とスケジュールの詳細については、Kofax の Web サイト ([www.Kofax.com](http://www.Kofax.com)) を参照してください。

## Kofax 製品のヘルプの入手

[Kofax Knowledge Base] (Kofax ナレッジ ベース) リポジトリにある記事の内容は定期的に更新され、Kofax 製品の最新情報について参照できます。製品に関してご不明の点がある場合は、Knowledge Base (ナレッジ ベース) で情報を検索することをお勧めします。

[Kofax Knowledge Base] (Kofax ナレッジ ベース) を参照するには、[Kofax Web サイト](#)にアクセスして、ホームページで **[サポート]** を選択してください。

注 Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジ ベース) は Google Chrome、Mozilla Firefox または Microsoft Edge 向けに最適化されています。

Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジ ベース) は以下の内容を提供します。

- 強力な検索機能で必要な情報をすぐに見つけることができます。  
**[Search]** (検索) ボックスに目的の語句を入力し、検索アイコンをクリックしてください。
- 製品情報、設定の詳細、リリース情報などのドキュメント。  
[Kofax Knowledge Base] (Kofax ナレッジ ベース) のホームページをスクロールして、製品ファミリーを見つけます。目的の製品ファミリー名をクリックして、関連記事の一覧を表示します。一部の製品ファミリーの場合は、関連記事を表示するために Kofax Portal (Kofax ポータル) の有効なログイン情報を入力する必要があります。
- [Kofax Customer Portal] (Kofax カスタマー ポータル) へのアクセス (資格のあるカスタマー向け)  
ページ上部にある **[Customer Support]** (カスタマー サポート) リンクをクリックしてから、**[Log in to the Customer Portal]** (カスタマー ポータルにログイン) をクリックします。
- Kofax Partner Portal (Kofax パートナー ポータル) へのアクセス (資格のあるパートナー向け)  
ページ上部にある **[Partner Support]** (パートナー サポート) リンクをクリックしてから、**[Log in to the Partner Portal]** (パートナー ポータルにログイン) をクリックします。
- Kofax サポート コミットメント、ライフサイクル ポリシー、電子フルフィルメントの詳細、セルフサービス ツールへのアクセス。  
**[General Support]** (一般サポート) セクションまでスクロールして、**[Support Details]** (サポートの詳細) をクリックし適切なタブを選択します。

## 第 1 章

# キャプチャ スタート パックの概要

キャプチャ スタート パックは、TotalAgility でジョブを作成および処理する際に使用できる定義済みコンポーネントを含むサンプル パッケージです。

キャプチャ スタート パックには、次のコンポーネントが含まれています。

- 取り込み、イメージ処理、分類、Document review、抽出、Validation、Verification、エクスポートなどの一般的なキャプチャ タスクを含むプロセス マップ。
- エラー処理がプロセスに組み込まれたプロセス マップ。
- ドキュメントがすでにトレーニングされている、付属の Transformation Designer プロジェクト。
- インデックス フィールドがある 2 つのドキュメント タイプ。これらのドキュメント タイプではサンプル ドキュメントが使用されます。
- 分類および抽出グループ。
- 抽出グループには、テーブルを含むすべてのフィールド タイプが含まれます。
- シン クライアント、Kofax インポート コネクタ、MFP、モバイル ソースからの取り込みポイント。

これらのコンポーネントは、次のように相互に関連しています。

- 抽出グループはフィールドを記述します。
- 抽出グループは、ドキュメントを説明する分類グループに関連付けられています。
- 分類グループは、ビジネス ワークフローのイベントを記述するアクティビティで構成されるプロセスにリンクされています。
- プロセスとそのアクティビティは、ディスプレイにレンダリングされる基本コンテンツを形成するフォームを作成するために使用されます。

キャプチャ スタート パックを使用して、MFP からドキュメントをスキャンする、サポートされているモバイル デバイスからドキュメントの写真を撮るなどのジョブを作成します。

キャプチャ スタート パックを使用するには、インポートする必要があります。インポート後、パッケージの一部の機能には追加の構成が必要になる場合があります。

キャプチャ スタート パックで作業するプロセスに慣れたら、Kofax Capture または Kofax Mobile Capture などのアプリケーションからイメージをインポートして、TotalAgility 環境で処理またはカスタマイズすることができます。

## 第 2 章

# キャプチャ スタート パックのインポート

この章では、キャプチャ スタート パックをインポートする方法について説明します。

## キャプチャ スタート パックのインストール フォルダ

キャプチャ スタート パックは、次のインストール ディレクトリに Kofax TotalAgility と一緒にインストールされます。

```
\\TotalAgilityInstall\Sample Processes\Capture Starter Pack
```

このパックには、次の項目が含まれています。

- **Sample Images:** このフォルダには、英語のイメージが含まれています。
- **Sample Images - Japanese:** このフォルダには、日本語のイメージが含まれています
- **キャプチャ スタート パック パッケージ - 日本語:** 日本語の zip ファイル。
- **キャプチャ スタート パック パッケージ:** 英語の zip ファイル。

## キャプチャ スタート パックのインポート

1. **TotalAgility Designer** を起動します。
2. [インポート] に移動します。  
[インポート] ページが表示されます。
3. **[Capture Starter Pack Package.zip]** を [ブラウズ] するか、ZIP ファイルをマシンから [インポートするファイル] ボックスにドラッグします。  
パッケージ内のファイルは、[インポート] ページに一覧表示されます。
4. [インポート] をクリックします。  
インポートが成功したことを確認するメッセージが表示されます。

注 インポート時にエラーまたは警告が発生した場合は、続行する前にそれらを解決します。

## 第3章

# キャプチャ スタート パックのコンポーネント

このセクションでは、キャプチャ スタート パックを TotalAgility にインポートするときに利用可能なパッケージの定義済みコンテンツについて説明します。このパッケージの内容:

- キャプチャ スタート パックのカテゴリ
- キャプチャ スタート パックのフォルダ タイプ
- キャプチャ スタート パックの抽出グループ
- キャプチャ スタート パックの分類グループ
- キャプチャ スタート パックのプロセス
- キャプチャ スタート パックのスキャン/VRS プロファイル
- キャプチャ スタート パックのフォーム
- プロセス内のエクスポート アクティビティ
- キャプチャ スタート パックのサイト
- キャプチャ スタート パックのナビゲーション

## カテゴリ

インポート後にキャプチャ スタート パックのカテゴリを開くには、[システム] に移動して [カテゴリ] をクリックします。[カテゴリ] ページに [キャプチャ スタート パック] が表示されます。キャプチャ スタート パックのカテゴリは、プロセス、フォーム、分類グループ、抽出グループなどの他のコンポーネントを保持するために使用されます。

## フォルダ タイプ

キャプチャ スタート パックのフォルダ タイプを開くには、[キャプチャ] に移動して [フォルダ] をクリックします。[フォルダ] ページの [カテゴリ] リストで、[キャプチャ スタート パック] を選択します。キャプチャ スタート パックのフォルダ タイプが表示されます。フォルダ タイプをクリックして開きます。キャプチャ スタート パックのフォルダ タイプが新しいブラウザ タブで開きます。このフォルダ タイプには、テキスト タイプのプロセス フィールドが含まれます。

## 抽出グループ

キャプチャ スタート パック抽出グループを開くには、[キャプチャ] に移動して、[抽出グループ] をクリックします。[抽出グループ] ページの [カテゴリ] リストで、[キャプチャ スタート パック] を選択します。キャプチャ スタート パック抽出グループがリストに表示されます。キャプチャ スタート パックを

クリックします。新しいブラウザ タブで抽出グループが開きます。注文フォーム ドキュメント タイプを展開して、他のドキュメント タイプを表示します。必要なドキュメント タイプ名を検索することもできます。



キャプチャ スタート パックの抽出グループには、次のドキュメント タイプが含まれています。

- 注文フォーム
- **Northwest**
- **Tri-Spectrum**

注文フォーム ドキュメント タイプには、次のフィールドを含む注文フィールド フィールド グループが含まれています。

フィールド	タイプ	OCR
CustomerName	テキスト	RS_MachineAlphanum(RecoStar 5.0)
SourceNumber	数値	バーコード ロケーター
CheckMoneyOrder	ブール値	OMR_Manual (OMR)
LinItems	テーブル	
LinItem - 数量	数値	FR_HandNum
LinItem - 記事コード	テキスト	FR_HandNum
LinItems - 説明	テキスト	FR_HandAlphanum
LinItems - 単価	数値	FR_HandNum
LinItems - 合計金額	数値	FR_HandNum
OrderDate	日付	RS_HanNnum (RecoStar 5.0)
CardType	選択 (可能な値: Visa、MasterCard、American Express)	各オプションのデフォルト OMR。

確認構成により、確認アクティビティに表示されるフィールドが決まります。CustomerName、SourceNumber、および CheckMO フィールドは構成する必要があります。

**Northwest と Tri-Spectrum:** これらのドキュメント タイプは [注文フィールド] フィールド グループを拡張し、どちらにも [注文フィールド] フィールド グループのすべてのフィールドが含まれるようにします。これらは Transformation Designer を使用してトレーニングされています。抽出アクティビティは、トレーニング結果を使用して、ドキュメント フィールドを自動的に認識して入力します。

## 分類グループ

キャプチャ スタート パックの分類グループを開くには、[キャプチャ] に移動して、[分類グループ] をクリックします。[分類グループ] ページの [カテゴリ] リストで、[キャプチャ スタート パック] を選択します。キャプチャ スタート パックの分類グループが表示されます。分類グループをクリックして開きます。

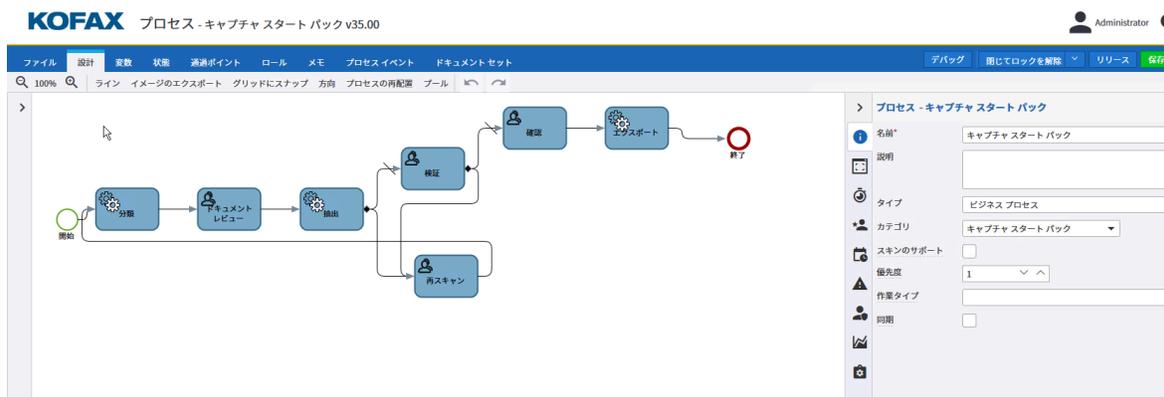
キャプチャ スタート パックの分類グループは、キャプチャ スタート パックの抽出グループを使用します。

キャプチャ スタート パックの抽出グループの両方のドキュメント タイプ (Northwest 注文フォームおよび Tri-Spectrum 注文フォーム) はすでに Transformation Designer によってトレーニング済みです。分類アクティビティは、トレーニング結果を使用してドキュメントを自動的に分類します。

## プロセス

キャプチャ スタート パック プロセスを開くには、[ワークフロー] に移動し、[ビジネス プロセス] をクリックします。[ビジネス プロセス] ページの [カテゴリ] リストで、[キャプチャ スタート パック] を選択します。キャプチャ スタート パックのビジネス プロセスをクリックします。プロセスが新しいブラウザ タブで開きます。

この図は、キャプチャ スタート パック プロセスのワークフローを表しています。



このプロセスには、次のキャプチャ アクティビティが含まれます。

- 分類
- ドキュメント レビュー

- 抽出
- 検証
- 確認
- エクスポート
- 再スキャン

このプロセスの検証および抽出アクティビティでは、分岐ルールを使用します。

拒否されたドキュメントまたはページでアクティビティが完了すると、入力フォルダが再スキャン ノードに送信されます。それ以外の場合は、通常のプロセス フローで次のノードにルーティングされます。再スキャン ノードは、再スキャンのために構成されたスキャン アクティビティです。再スキャンは、Kofax Capture の画質コントロールに相当します。

分岐ルールとスキャン アクティビティの構成については、『TotalAgility のヘルプ』を参照してください。

## スキャン/VRS プロファイル

キャプチャ スタート パックのスキャン/VRS プロファイルを開くには、[キャプチャ]>[スキャン/VRS プロファイル]に移動し、[キャプチャ スタート パック]をクリックします。

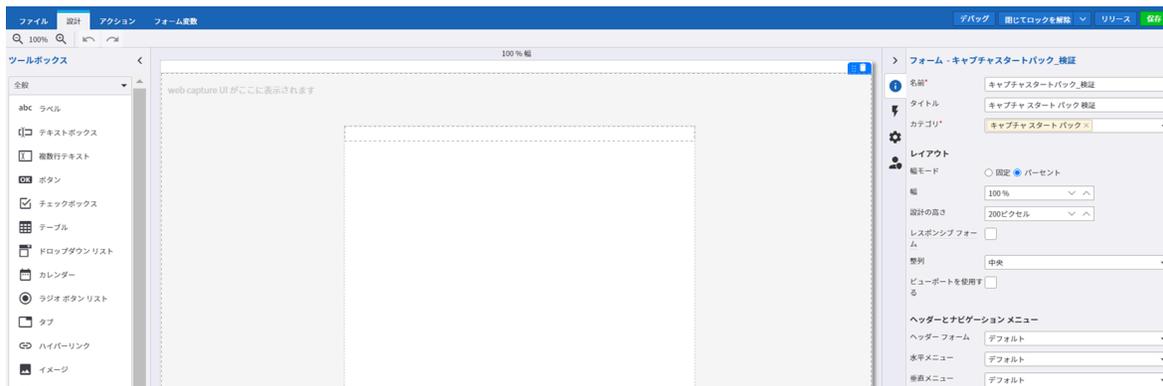
キャプチャ スタート パックのプロセス、デバイス新規ジョブ作成フォーム、およびスキャン新規ジョブ作成フォームは、このプロファイルを使用します。スキャン後、イメージは VRS によって処理されます。

## フォーム

フォームを開くには、[ユーザー インターフェイス]に移動し、[フォーム]をクリックします。[フォーム] ページの [カテゴリ] リストで、[キャプチャ スタート パック]を選択します。キャプチャ スタート パックには、次のフォームが含まれています。

名前	タイプ
Capture Starter Pack_Document Review	ドキュメント レビュー
Capture Starter Pack_Rescan	スキャン アクティビティ (Kofax インポート コネクタおよびキャプチャ クライアントの場合)
Capture Starter Pack_Scan	スキャン新規ジョブ作成 (Kofax Import Connector および Capture Client 用)
Capture Starter Pack_Validation	検証
Capture Starter Pack_Verification	確認
ManualLogon	ログオン
Capture Starter Pack_DeviceScan	デバイス新規ジョブ作成 (MFP およびモバイル デバイス用)

これらのフォームは TotalAgility でカスタマイズが可能になります。これらの生成されたフォームは動的であるため、設計時にフィールドは表示されません。



実行時の Capture StarterPack\_Scan フォームは次のように表示されます。

CustomerName	<input type="text"/>								
SourceNumber	<input type="text" value="0"/>								
CheckMO	<input type="checkbox"/>								
<b>Items</b>									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>Quantity</th> <th>Item</th> <th>Amount</th> <th>Description</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>		Quantity	Item	Amount	Description				
Quantity	Item	Amount	Description						
Date	<input type="text" value="10/8/2015"/>								
Bill	<input type="text"/>								

TotalAgility ユーザーによって生成される Capture Starter Pack\_DeviceScan フォームは、MFP およびモバイル デバイスで使用されます。このフォームでは、設計時と実行時の両方でフィールドが表示されます。テーブル フィールドはサポートされていません。

デバイス スキャンは非同期に実行されるため、ジョブが実際に作成されるのは、イメージがスキャンされる前になります。イメージが受信されていないときにジョブが処理されないようにするために、[スキャン済み] イベントの前提条件がプロセスの最初のアクティビティ、つまり分類アクティビティに追加されます。

その結果、プロセスが分類アクティビティよりも先に進行するように設定するには、他のすべてのファイル取り込みポイントで同じ [スキャン済み] イベントを発生させる必要があります。たとえば、スキャン新規ジョブ作成フォームの「」 [OnCreateNewJob] イベントにカスタム フォーム アクションを追加して、[スキャン済み] イベントを発生させます。

デバイス新規ジョブ作成フォームを使用して取り込まない場合は、[スキャン済み] イベントの事前条件を削除して、[スキャン済み] イベントが他の取り込みチャンネルで発生しないようにします。

## サイト

サイトを開くには、[ユーザー インターフェイス] に移動し、[サイト] をクリックします。[サイト] ページの [カテゴリ] リストで、[キャプチャ スタート パック] を選択します。キャプチャ スタート パックのサイトをクリックして開きます。

キャプチャ スタート パックのサイトには、次のプロパティが含まれています。

- [カテゴリ]: キャプチャ スタート パック
- [名前]: CaptureStarterPack
- [言語]: 日本語を選択する場所。  
追加 をクリックして言語を選択します。
- [デスクトップ設定]、[タブレット設定]、[電話設定]
  - [テーマ]: TotalAgility Workspace
  - [ヘッダー フォーム]: WorkspaceHeader
  - [水平ナビゲーション]: キャプチャ スタート パック
  - [デフォルトのフォーム]: ログオン フォーム

次の URL を使用して、CaptureStarterPack サイトにアクセスします。

`http://[サーバー名]/totalagility/forms/capturestarterpack/`

ブラウザは自動的に次の場所に移動します。

`http://[サーバー名]/totalagility/forms/capturestarterpack/LogonForm.form`

## ログオン フォーム

デフォルトの TotalAgility Workspace は Windows 認証を使用します。手動ログオン フォームを使用して、さまざまなユーザーがログオンできるようにすることができます。

このログオン フォームがキャプチャ スタート パック サイトのデフォルトのフォームとして設定されています。任意のフォームをサイトのデフォルト フォームとして設定できます。

## ナビゲーション

ナビゲーションを開くには、[ユーザー インターフェイス] に移動し、[ナビゲーション] をクリックします。[ナビゲーション] ページの [カテゴリ] リストで、[キャプチャ スタート パック] を選択します。[キャプチャ スタート パック] ナビゲーションをクリックして開きます。

デフォルトでは、ナビゲーション メニューには次のプロパティが表示されます。

- 名前: キャプチャ スタート パック
- カテゴリ: キャプチャ スタート パック
- 幅: 150
- 高さ: 30

キャプチャ スタート パックのナビゲーションには、次のメニュー項目が含まれています。スキャン、作業キュー、ジョブ。[メニュー項目]で[キャプチャ スタート パック]を展開し、メニュー項目を選択します。

[スキャン]: 次のプロパティが含まれます。

- タイプ: メニュー項目
- メニュー項目名: スキャン
- ターゲット: Capture Starter Pack\_Scan

[作業キュー]: 次のプロパティが含まれます。

- タイプ: メニュー項目
- メニュー項目名: 作業キュー
- ターゲット: GeneralWorkQueue.form

[ジョブ]: [ジョブ] メニューを展開して、[作成] および [検索] メニュー項目を表示します。これらの項目には、次のプロパティが含まれています。

メニュー項目	プロパティ
<b>[作成]</b>	
	タイプ: メニュー項目
	メニュー項目名: 作成
	ターゲット: CreateNewJob.form
	ウィンドウ: 同じウィンドウ
<b>[検索]</b>	
	タイプ: メニュー項目
	メニュー項目名: 検索
	ターゲット: findjobs.form
	ウィンドウ: 同じウィンドウ

## アクセス フォーム

次の URL を使用して Kofax TotalAgility Workspace にアクセスします。

[http://\[ホスト名\]/totalagility/forms/capturestarterpack/](http://[ホスト名]/totalagility/forms/capturestarterpack/)

キャプチャ スタート パックの Workspace メニューを使用してキャプチャ スタート パックのスキャン フォームと全般作業キュー フォームにアクセスし、シンクライアントでジョブを開始します。

注 キャプチャ スタート パックの Workspace メニューは Kofax インポート コネクタ、Kofax Mobile Capture、または MFP では利用できません。

## キャプチャ スタート パックのアクティビティの表示

キャプチャ スタート パックのアクティビティを表示するには、[作業キュー] ページの [共有クエリ] で、[キャプチャ スタート パック] を選択します。

**KOFAX** TotalAgility Workspace

タスク ▾ ジョブ ▾ リソース ▾ 管理 ▾ キャプチャソリューション

**作業キュー**

+ [アイコン] [アイコン] < 今日が期限のマイワーク | リフレッシュ クエリの編集

	アクティビティ名	プロセス	優先度
マイクエリ			
▼ 共有クエリ			
アラート			
キャプチャ スタート パック			
すべてのアクティビティ (デフォルト)			
マイ アクティビティ			
マイワーク			
今日が期限のすべてのワーク			
今週が期限のマイ ワーク			
今週が期限のすべてのワーク			
今週が期限のマイ ワーク			
自分とマイグループ (全員を除く)			
自分とマイグループのワーク			
自分と部下のワーク			

## エクスポート

インポートされたパッケージのキャプチャ スタート パック プロセスには、エクスポート アクティビティが含まれています。このプロセスを使用してジョブを作成した場合は、テキスト用のKofax エクスポート コネクタをインストールしない限り、ジョブは実行されません。

コネクタをインストールし、[エクスポート コネクタ - セットアップ] 画面を使用して、キャプチャ スタート パック プロセスで使用するコネクタを構成します。「[Kofax エクスポート コネクタの設定](#)」を参照してください。

注 エクスポート アクティビティは、Azure 環境ではサポートされていません。エクスポート アクティビティがあるプロセスのジョブを作成すると、ジョブはエラーになり一時停止します。

## プロセス ドキュメント

ドキュメントの処理には、次の手順が含まれます。

1. ドキュメントをスキャンする: Capture Starter Pack\_Scan フォームに移動します。

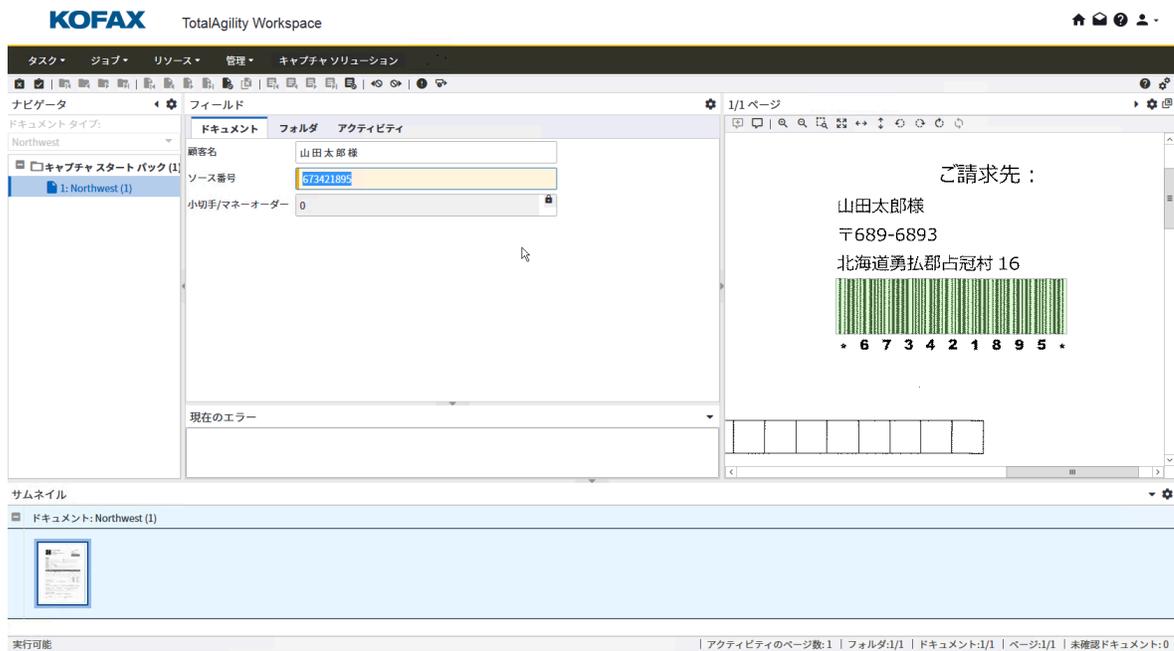
注 このフォームを Web ファイルのインポートに使用します。Kofax TotalAgility の新規インストール時にフォームに初めてアクセスする場合は、ファイルのインポート サービスをインストールするように求められます。次のステップのスキャン ソースとしてファイルのインポートを選択します。

The screenshot shows the Kofax TotalAgility Workspace interface. The main window displays a document titled "ノースウエスト製品" (Northwest Products) with a barcode and a table of items. The table has columns for "数量" (Quantity), "商品番号" (Product Number), "詳細" (Details), "単価" (Unit Price), and "金額" (Amount). The status bar at the bottom shows "実行可能" (Executable) and "スキャンされたページ数: 1 | 自動削除: 0 | アクティビティのページ数: 1 | フォルダ: 1/1 | ドキュメント: 1/1 | ページ: 1/1 | 無効なドキュメント: 0".

数量	商品番号	詳細	単価	金額
1	638	朝食器 - クーキサーバー	3,495	3,495
			小計	3,495
			手数料	500

2. ドキュメント内のイメージは、分類アクティビティを使用して自動的に分類されます。
3. レビュー アクティビティを使用して、分類結果を手動でレビューします。アクティビティ内のドキュメント、フォルダ、またはフィールドが無効な場合は修正します。
4. ドキュメントとフォルダ フィールドは、抽出アクティビティを使用して自動的に認識されます。
5. 検証アクティビティを使用して、フィールド値を手動で検証します。

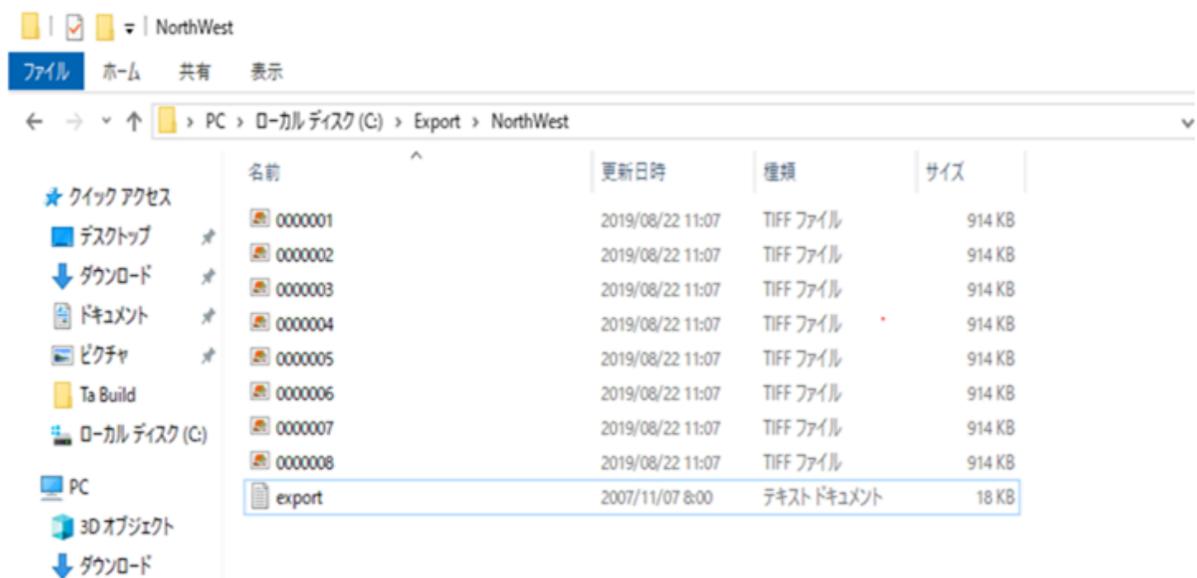
6. 確認アクティビティを使用して、ドキュメントデータをエクスポートする前に確認します。サンプルでは、CustomerName、SourceNumber および CheckMO の 3 つのフィールドのみを確認するように構成されています。



7. ドキュメントは、エクスポート アクティビティを使用して次のフォルダにエクスポートされます。

- c:\Export\NorthWest
- c:\Export\Tri-spectrum

各フォルダには、ドキュメントとフォルダのフィールドを一覧表示する Export.txt が含まれています。



## コンポーネントのカスタマイズ

必要に応じて、キャプチャ スタート パッケージの分類グループ、抽出グループ、およびフォルダ タイプを変更して、キャプチャ スタート パック プロセスをカスタマイズできます。

フォルダ タイプ、抽出グループ、分類グループについては、『Kofax TotalAgility のヘルプ』を参照してください。

### フォルダ タイプの変更

フォルダはプロセス変数に割り当てられ、新規ジョブが作成されると初期化されます。別のフォルダ タイプを使用するには、フォルダ変数を別のフォルダに置き換えます。

1. キャプチャ スタート パック プロセスを開きます。
2. モデリング バーで、[変数] をクリックし、[フォルダ] 変数をクリックします。  
[変数の編集] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [値] リストで、キャプチャ スタート パックの変数を削除し、別のフォルダ変数を選択します。

The screenshot shows the Kofax TotalAgility interface for 'プロセス - MFP スタート パック v23.00'. The '変数' (Variables) tab is active, displaying a table of variables. A dialog box titled '変数の編集' (Edit Variable) is open, showing the configuration for the 'Folder' variable.

名前	ID	タイプ
エクスポートされたドキュメント	DOCUMENTEXPORTED	複合
エクスポート成功	EXPORTSUCCESS	ブール
カウンターの再スキャン	RESCANCOUNTER	
ドキュメントはエクスポートされていません	DOCUMENTNOTEXPORTED	
トレイリングドキュメントカウンター	TRAILINGDOCUMENTCOUNTER	
フォルダ	FOLDER	

The 'Edit Variable' dialog box contains the following fields:

- 名前\*: フォルダ
- ID: FOLDER
- タイプ: フォルダ
- 初期化:
- 値: MFP スタート パック ×

Buttons: キャンセル, 更新

4. [更新] をクリックします

### 分類グループの変更

1. ワークフローに移動し、キャプチャ スタート パック プロセスを開きます。
2. プロセスのプロパティ パネルで、[キャプチャ] タブをクリックします。  
キャプチャ スタート パック グループは、デフォルトで [分類グループ] リストに表示されます。
3. [分類グループ] リストで、デフォルトのキャプチャ スタート パックを削除して別の分類グループを選択します。

4. **[保存]** をクリックします。

## 抽出グループの変更

抽出グループは分類グループにリンクされ、分類グループはプロセスに関連付けられます。分類グループを使用して、キャプチャ スタート パック プロセスに関連付けられている抽出グループを変更できます。

1. **[キャプチャ]** に移動し、**[分類グループ]** をクリックします。  
**[分類グループ]** ページが表示されます。
2. **[カテゴリ]** リストで、**[キャプチャ スタート パック]** をクリックします。
3. キャプチャ スタート パックの分類グループをクリックします。  
**[分類グループの編集]** ダイアログ ボックスが表示されます。
4. **[抽出グループ]** ボックスで、デフォルトで表示されるキャプチャ スタート パック グループを削除し、別の抽出グループを追加します。
5. **[保存]** をクリックします。

## 第4章

# キャプチャ スタート パックの構成

キャプチャ スタート パックをインポートする場合は、デフォルト設定を使用して、含まれているドキュメントを処理できます。独自のドキュメントを処理する場合は、構成の変更が必要になることがあります。

こちらも参照してください。

- [取り込みソースの構成](#)
- [Kofax エクスポート コネクタの設定の構成](#)

## 取り込みソースの構成

取り込みソースには、シンクライアント、MFP、モバイル、Kofax インポート コネクタなどの入力ソースが含まれます。シンクライアントは、パッケージに埋め込まれたフォームを使用します。他の取り込みソースでは、パッケージをインポートした後に手動で構成する必要があります。手動構成の詳細については、以下を参照してください。

- [MFP 設定の構成](#)
- [モバイル設定の構成](#)
- [Kofax インポート コネクタの設定の構成](#)

## MFP 設定の構成

MFP で使用する TotalAgility を構成するには、MFP クライアント ソフトウェアをダウンロードする必要があります。

### MFP クライアント ソフトウェアのダウンロード

MFP Emulator などの MFP クライアント ソフトウェアをダウンロードするための指示に従います。

1. TotalAgility Designer を起動し、[システム]>[システム設定]>[キャプチャ]>[デバイス]に移動します。  
[デバイス] ページが表示されます。
2. [ダウンロード] をクリックします。
3. MFP クライアント ソフトウェアをダウンロードするには、[メーカー] リストで、[MFP Emulator] など、MEP タイプに対応するメーカーを選択します。
4.  をクリックします。  
PDF 形式のインストール手順を含む .zip ファイルがダウンロードされます。
5. ガイドの説明に従って、MFP Emulator を実行および構成します。  
MFP Emulator がインストールされます。

## MFP Emulator

1. MFP Emulator を起動します。
2. MFP Emulator の [メイン メニュー] で、Capture Starter Pack\_DeviceScan フォームを選択します。Capture Starter Pack\_Device Scan ダイアログボックスのインデックス フィールドが表示されます。
3. [設定] > [デバイス] > [デバイス プロファイル] に移動し、デフォルト プロファイルを編集します。
4. [関連付けられたフォーム] タブで、プロセスのデバイス フォームを [関連付け] 列に関連付けます。
5. [保存] をクリックします。

## モバイル設定の構成

Kofax Mobile Capture は Android および iOS デバイスで利用可能です。モバイル デバイスに Kofax Mobile Capture をインストールした後、TotalAgility でキャプチャ スタート パックと併用するように構成できます。

注 モバイル デバイスで開始されたジョブが、サーバー上でイメージ処理または分割を実行することはありません。デバイス新規ジョブ作成フォームを使用することで、モバイル デバイスから送信されるすべてのページのイメージング ボリュームが減少します。

1. Kofax Mobile Capture にログオンします。
2. [メイン メニュー] で、[キャプチャ スタート パック\_デバイス スキャン] を選択します。選択したフォームに関連付けられたフィールドが [フィールドの詳細] 画面に表示されます。

## Kofax インポート コネクタの接続設定の構成

Kofax インポート コネクタを使用して、ドキュメントを TotalAgility にインポートできます。

注 電子メールをインポート ソースとして使用して、受信トレイからドキュメントをインポートすることもできます。

1. Kofax インポート コネクタをインストールして構成します。
2. [メイン メニュー] で、[キャプチャ スタート パック\_デバイス スキャン] を選択します。
3. TotalAgility Designer を起動し、[結合] > [設定 インポート] に移動します。[設定 インポート] ページが表示されます。
4. [新規] をクリックします。[新しいインポート接続] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. インポート接続の [名前] として「キャプチャ スタート パック」を入力します。
6. デフォルトでは、インポート接続は [アクティブ] です。
7. 新しいインポート接続の [Message Connector の URL] を入力します。
8. [インポート ソース] の + をクリックして、ファイルのインポートのソースを追加します。
9. ファイルのインポートのソースを設定します。
10. 変更を保存します。

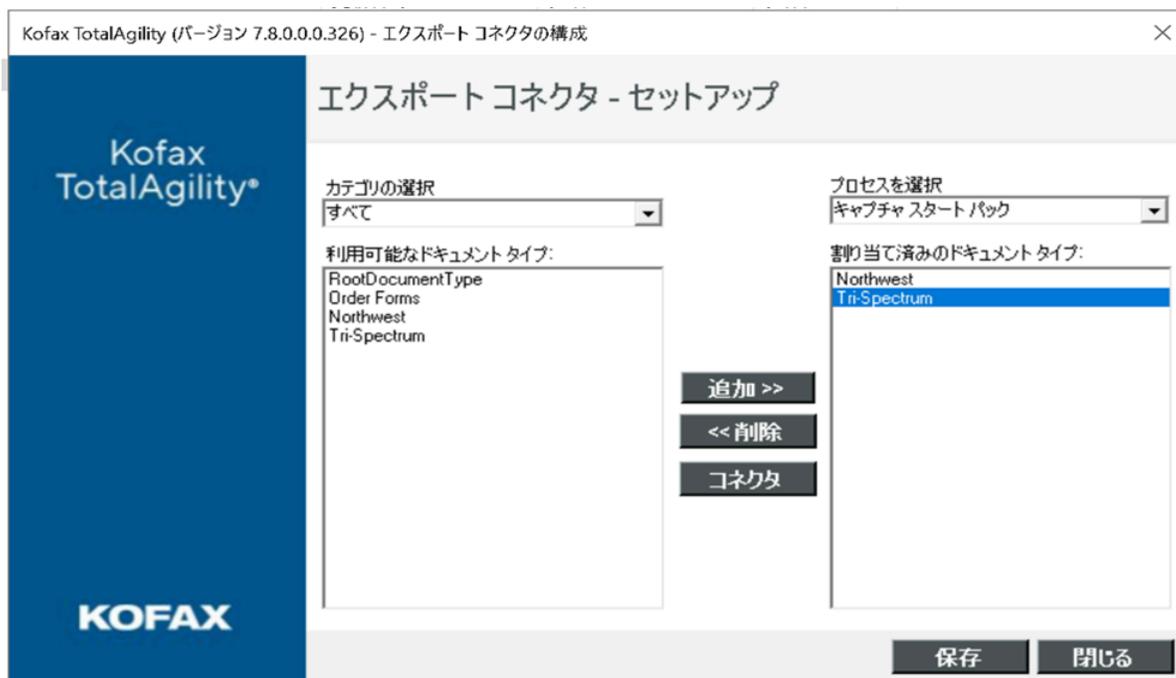
## Kofax エクスポート コネクタの設定の構成

キャプチャ スタート パック プロセスを使用して作成されたジョブを実行するには、Kofax Export Connector for Text 1.0 を手動でインストールしてから、キャプチャ スタート パック プロセスでコネクタを構成する必要があります。『[Kofax エクスポート コネクタのヘルプ](#)』を参照してください。

Kofax Export Connector for Text 1.0 は、Kofax フルフィルメント サイトにある、言語ごとに入手可能な Kofax TotalAgility ZIP (Kofax TotalAgility7.8.0\_EN.zip や Kofax TotalAgility7.8.0\_DE.zip など) からダウンロードできます。

エクスポート コネクタがインストールすると、[スタート] メニューからアクセスできるようになります。

1. [開始] メニューで、**[Kofax TotalAgility] > [Kofax エクスポート コネクタ]** をクリックします。
2. [エクスポート コネクタの構成] 画面で、**[セットアップ]** をクリックします。
3. [エクスポート コネクタ - セットアップ] 画面の **[カテゴリの選択]** リストで、**[キャプチャ スタート パック]** を選択します。



4. [プロセスを選択] リストで、**[キャプチャ スタート パック]** を選択します。  
選択したプロセスのドキュメント タイプが **[利用可能なドキュメント タイプ]** ボックスに表示されます。
5. **[利用可能なドキュメント タイプ]** で **[Tri-Spectrum]** および **[NorthWest]** を選択し、**[追加]** をクリックします。  
選択したドキュメント タイプが **[割り当て済みのドキュメント タイプ]** ボックスに表示されます。
6. **[割り当て済みのドキュメント タイプ]** ボックスから、**コネクタ** を割り当てるドキュメント タイプを選択し、**[コネクタ]** をクリックします。  
**[エクスポート コネクタ - <ドキュメント タイプ名>]** ウィンドウが表示されます。

7. [利用可能なエクスポート コネクタ] ボックスから、ドキュメント タイプに割り当てるコネクタを選択し、[追加] をクリックします。

事前定義されたユーザー インターフェイスを備えた、Kofax Export Connector for <コネクタ名> のセットアップ ウィンドウが表示されます。この手順では、選択したエクスポート コネクタをドキュメント タイプに割り当て、選択したコネクタを [割り当て済みエクスポート コネクタ] ボックスに追加します。

8. ↑ と ↓ を使用し、エクスポート コネクタのシーケンスを変更します。  
エクスポート コネクタは、指定した順序で実行されます。
9. ドキュメントのインデックス フィールドをドキュメントのドキュメント フィールドにマッピングし、Kofax Capture の値をドキュメントのシステム フィールドにマッピングします。
10. 必要に応じて、その他の詳細を構成します。

注 プロセス内でエクスポート アクティビティを使用すると、実行時にドキュメントがイメージに変換され、指定した形式でフォルダにエクスポートされます。

11. [保存] をクリックします。

## 例外処理

システムは、キャプチャ プロセスの実行中に例外を発生させます。たとえば、キャプチャ アクティビティを使用してドキュメントまたはページを処理しているときにエラーが発生した場合、例外が発生します。

例外を処理するには、問題を修正して最初からジョブを再開できるアクティビティを備えた、代替の例外パスにドキュメントをルーティングします。たとえば、イメージにエラーがある場合にイメージを再スキャンするスキャン アクティビティを例外パスに設定します。すべてのキャプチャ アクティビティは、代替実行パスをサポートしています。パスは、設計時にアクティビティに定義された分岐ルールに従って、実行時に選択されます。

再スキャンすると、スキャン アクティビティは自動的に次の拒否されたドキュメントまたはページに移動し、拒否されたドキュメントまたはページがない場合にのみアクティビティが完了します。

自動キャプチャ アクティビティを処理する場合は、次の処理が行われます。

- 失敗したドキュメントまたはページがスキップされ、エラー以外のすべてのドキュメントおよびページの処理が完了します。
- 失敗したドキュメントまたはページが拒否され、拒否理由が表示されます。
- ドキュメントまたはページが既に処理されている場合はスキップされ、新規ドキュメントとページのみが処理されます。

キャプチャ プロセスには、フォルダまたはドキュメント タイプの入力変数があります。バッチに拒否が含まれている場合、アクティビティの分岐ルールで HasRejections および RejectedByFailure プロパティを使用し、例外パス (分岐) を通してバッチを送信します。

例: 分岐ルール

分岐ルール

デフォルトのパス\*

排他的 OR (XOR) を使用する

**確認** 項目を選択するには、ルール エディターで右クリックします

再スキャン

```
フォルダ.HasRejections (プロセス... ) × = false
```

確認(&V)

キャンセル OK